

# めいわ かわら版



ことり保育園 主任保育士 **戸田 みどり**

**2** 013年に社会福祉法人明和会に中途入社した戸田みどりさん。ことり保育園で主任保育士として働いています。ことり保育園は0〜2歳児を対象に、夜間保育や一時預かり保育にも対応している院内保育園。普段利用している保育園・幼稚園が休園の場合に、単発で利用する病院職員も多い環境で、病院との連携も図りながら、日々の保育活動に励んでいます。

——保育士になったきっかけを教えてくださいませんか。

保育士は子どもの頃からの憧れでした。近所の小さな子どもと遊んだり、赤ちゃんを見にいったりすることが大好きで、小学生の頃は低学年の子どもたちと仲良く、卒業文集では「将来の夢は保育士」と書いていましたね。とにかく子どもが大好きなので、毎日一緒にいられる保育士になれて本当にうれしく思っています。

——夢を叶えられたのですね。実際に働いてみて辛いことはありませんか。

保育の現場は毎日楽しく、また子

子どもでも大人でも、同じように

相手を気づかい、保育の質の向上に尽力している戸田さん。高い志を胸に、今後もさらなる成長を遂げていくことでしょう。

——お仕事をされる上で、こだわっていることはありますか。

相手が誰であっても、その気持ちを考えて対応することです。保護者や保育士、職員を大事にすると、結果として子どもたちに返っていくと考えています。例えば、保護者に優しく声をかければ、その方も子どもに優しく声をかけますし、保育士が精神的に落ち着いていれば、子どもたちにも穏やかに接することができます。皆が仕事に追い立てられることなく、気持ち良く働けるように、まずは自分が思いやりを持って人に接し、相手が安心する言葉かけ続けていきたいと思っています。

——思い出に残っているイベントや出来事がありますか。

ことり保育園に入って間もない頃、歌手のいきものがかりの曲「じょいふる」を夏祭りで踊ったことです。30代でセーラー服を着てももちろん恥ずかしさもありましたが、保護者の方々に喜んでもらえることと必死でした。皆で団結して、何度も練習をしたので、本番後は達成感を得られましたね。「先生の踊り、クオリティ高いですね!」と、うれしい声をたくさんいただきました。

——先生方も発表するとは、珍しいですね。

楽しみにしてください。保護者の方が大勢いらっしやって、毎年好評です。2020年度の発表会は新型コロナウイルスの関係で、密にならないよう2回に分けて実施します。演目は手袋のライندگان。皆で並び、手だけを出して踊るのですが、なかなか難しく、大変です。夏祭りや発表会は、チームワークを高めるとい意味でも、有意義な催しだと思っています。保育士や職員同士の仲が良く、コミュニケーションがとれていると、園全体の雰囲気も良くなっていくと考えます。

——最後に、今後の目標をお聞かせください。

まだ経験不足で、園長先生を頼っているところがあるため、研修などに積極的に参加して知識を身につけたいと思います。主任保育士として、指示の出し方や伝え方にも難しさを感じています。保育士や保護者の方々に適切なアドバイスができるように、これからも勉強し続けます。

——主任保育士になられて、お仕事にどのような変化がありましたか?

これまでは受け持ったクラスだけでしたが、今は園全体を見なくてはならず、視野が広がり、責任の大きさを感じています。子どもたちだけでなく、保育士の対応の様子などにも気を配らなくてはなりません。事務仕事や、環境整備などの業務も増え、大変な面もありますが、保育士全体のリーダーという自覚を持って努力していきたいと思っています。



<企業情報>  
社会福祉法人明和会  
■法人認可：1966年11月  
■事業活動収入：22億円  
※2020年6月時点  
■問い合わせ先：0538-42-3228



# 2020年を振り返って

13名の方に今年を振り返っていただき、印象に残っている出来事を伺いました！  
どんな一年だったのでしょうか？

【質問内容】①一年を総括するとどんな年でしたか？ ②2020年で一番印象に残っている出来事を教えてください！



明和ふかみの里 介護スタッフ  
まつい つかさ  
松井 幸さん

- ① コロナウイルス対策で慌ただしい年でした。ですが、備品の確認や対応の検討など、他の感染症にも活かせることが多く、今準備することができて良かったと思います。
- ② 3度目の挑戦にして、ようやく社会福祉士の国家試験に合格できたことです。



あきは寮 生活支援員  
とみた なつみ  
富田 夏実さん

- ① 仕事を確実にしようとして自分なりにやってきましたが、上手くいかず反省点ばかりの一年でした。
- ② コロナウイルスが流行り、あまり外出できなかったことが印象に残っていますが、都合がなかなか合わなかった友達と久しぶりに会えたことが嬉しい出来事でした。



あきは寮 生活支援員  
さとう けんいち  
佐藤 恵一さん

- ① 新型コロナウイルスにより、利用者の方は今まで当たり前だったことができなくなりました。コロナ禍の中でどうすればそれができるようになるのか、どうすれば利用者の方に楽しんでいただけるのかを考えさせられる一年でした。
- ② 11月に行なった施設内スポーツ祭です。玉入れ、パン掴み競技、借り物競走といった懐かしの競技に、利用者の方と職員と一緒に参加し、最後まで笑顔溢れる素敵な行事になりました。



あきは寮 生活支援員  
ながた あさひ  
永田 あさひさん

- ① 我慢と有り難みを感じる一年でした。コロナウイルスの影響で、今まで当たり前に行っていたことや、行けていた場所に行けなくなり、これまでは普通だと思っていた生活が一変しました。
- ② 2か月で2度も、溶連菌に罹りました。職場の皆さんには、大変ご迷惑おかけしました。来年こそは、健康管理に気をつけて病気や怪我のない一年にしたいと思います！



袋井学園 生活支援員  
きたじょう ゆうと  
北條 勇斗さん

- ① コロナウイルスの影響により多くのイベントが自粛される中、施設内で利用者様に楽しく過ごしてもらうため、今までとは違った支援・行事を考えた年でした。
- ② 私事ではありますが2人目の子どもが産まれたことです。さらに家族が増えて賑やかになったので嬉しく思います！



めいわ可睡保育園 保育士  
やぎ まみや  
八木 真未弥さん

- ① 初めての年長児で楽しいことやわくわくすることも沢山ありましたが、わからないことも多く、先輩方に沢山相談してもらい、とても勉強になる一年でした。
- ② 子どもたちと一緒に元気いっぱい行事を楽しんだことです(お泊まり保育、運動会、発表会など)。一つの行事を子どもたちと共に向き合いながら成し遂げ、達成感を一緒に味わうことができました。



あきは寮 生活支援員  
まぶち みどり  
馬淵 碧さん

- ① 感染症予防に気の抜けない一年でした。
- ② コロナウイルスが流行し、様々な行事の内容が変更となりました。普段とは違う雰囲気での開催でしたが、皆さんと楽しく行うことができました。



あきは寮 生活支援員  
おがわ たくや  
小川 拓也さん

- ① コロナウイルスにより生活が大きく変わる年でした。
- ② コロナウイルス対策で施設合同での行事を行なうことが難しくなり、各施設内で行事を行なうようになりました。他の施設の方と会うことができず寂しく感じることもありますが、施設内で行事を利用者と共に楽しく行ないました。



めいわ月見保育園 調理員  
いとう りな  
伊藤 里奈さん

- ① 今年はとても責任を感じた一年でした。昨年度の途中から、栄養価計算を任せられるようになりました。今までより仕事量も増えて、大変なこともありますが、効率の良いやり方を自分で見つけながらやっていくことができました。書類に不備が無いよう、確認作業をしっかりとし、会議が終わったらできるだけ早く各保育園に書類を送るよう、心がけました。
- ② 一番印象に残っていることは個人的なことですが、結婚をしたことです。慣れない家事と仕事の両立はまだ大変ですが、公私共に充実して過ごしていけるようにしたいと思います。



袋井学園 生活支援員  
しんじ みほ  
進士 美穂さん

- ① コロナウイルスにより利用者の皆さんが楽しみにしていた外出や行事等がなかなか実施できなかったことです。
- ② いとこの子ども(第3子)が生まれ、癒しがさらに増えました！成長がとても楽しみです。



明和苑 袋井北部地域包括支援センター 社会福祉士  
たかはた あかね  
高畑 茜さん

- ① 新型コロナウイルス感染による影響で、三密を避け、消毒の徹底など気を配りながらの業務でした。現在も先の見えない状況ではありますが、今後も利用者様に寄り添った支援を行なっていきたいと思います。
- ② 地域包括支援センターには、日常生活や健康や介護保険についてなど色々な相談が寄せられます。その中であるご家族様よりいただいた「あなたに話を聞いてもらってよかった。ありがとう」のお言葉が印象深く、何よりも励みになりました。



袋井学園 生活支援員  
やまぎわ みさと  
山際 美智さん

- ① 変化が激しい一年でした。コロナの影響で都度対応が変更されたこともそうですが、所属班に新たな主任が赴任し、日中活動の提供の幅が広がったこと、自身の担当利用者様の体調の著しい変化等、良いも悪いも様々でした。
- ② 今まででは、旅行好きな利用者様が旅行のたびに「旅行行ったじゃん！お弁当美味しかったね」と声を掛けてくれていました。しかし、先日買い物に行った後から「旅行」が「買い物」に変わりました。利用者様の楽しみがささやかなものになってしまったことを実感しました。



袋井学園 生活支援員  
くぼた みつたか  
久保田 光貴さん

- ① 良いも悪いもコロナウイルスに左右された年でした。旅行が趣味ですが、行くことが難しく残念だった反面、家族と過ごす時間が増えたことは良かったと思います。
- ② 大学時代の友人と行ったゴルフです。コロナでなかなか外出できない情勢でしたが、一度落ち着いた頃に対策もしっかりして行きました。

